



# 熊本

平成28年熊本地震

## 被災地視察の 御報告

題字 田代弘興 狛下

第156号

<http://bussei.gr.jp/>

## 真言宗豊山派仏教青年会 第三十一代会長就任挨拶



埼玉三号 持明院 木村真弘

真言宗豊山派仏教青年会第三十一代会長の就任を仰せつかりました埼玉三号支所持明院の木村真弘と申します。

ご承知の通り、本会はこれまで、歴代会長に就任してこられた諸先輩方の卓越した指導力をもって発展してまいりました。はからずもこの度、その重責を根本聖道会長より引き継がせていただく事となりましたが、もとより私は、浅学非才の身でございます。本当に自分がこのような大役を担う事ができるかどうか深慮いたしました。これも仏縁と考え、お引き受けする決意をいたしました。しかしながら、皆様のお力添えなくしては、無事に任期を全うできません。不慣れな点が多々あるとは存じますが、周囲の方々からお知恵を拝借いたしながら報恩感謝の一念で、ご奉仕させていただきます。

せていただく所存でございます。

さて、真言宗豊山派仏教青年会は、現代社会に生きる皆さまと共に、人間教育と社会奉仕の実践を通じ、お大師さまの教えをひろく世界に伝えることを目的として、昭和32年に活動を開始いたしました。太平洋戦争の敗戦、焼け野原からの戦後復興がひと段落を終え、高度経済成長へと移りゆく最中の時代に、豊山派では、広く世間の人びとにお大師さまの教えを伝えようという機運が高まり、日々研鑽に努める青年僧侶の活躍を期待する声が出されるようになり、その活動は、多岐にわたる、養護施設の慰問伝道ならびに全国伝道、総本山長谷寺で開催される牡丹まつりでの布教活動、昭和34年に実施した都内で伊勢湾台風被災者の托鉢募金より続けてまいりました阪神淡路

大震災、東日本大震災等の災害支援、声明等の仏教文化財記録保存や一般の方々を対象とした写仏講座など、今日に至るまで様々な試みが行われてきた事は、周知の通りかと存じます。

一方で、こうした各活動が実施された背景には、私たちを取り巻く社会情勢の変化と、その都度、深刻な問題へ真摯に向き合う青年僧侶の姿勢がございました。戦後の日本は、人口の一極集中化と都市部の急速な発展に伴い、物質的な発展のみ追及される雰囲気蔓延し、人間同士の結びつきを希薄なものとし、お互いに思いやりの心を持つといった心の豊かさが置き去りにされるようになった現状は、誠に遺憾な事であり、同時に、このような時であるからこそ、諸先輩方が築きあげてまいりました

仏教青年会六十年の歴史に学び、お大師さまのみ教えを正しく実践しながら現代社会に活かすという理念へ、いま一度、立ちかえる必要があるのではないかと考えている次第でございます。

会員をはじめ、諸大徳様各位におかれましては、どうぞ倍旧のご厚情を賜りたく、伏してご指導、ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

### 第三十代真言宗豊山派仏教青年会執行部

- 会長 木村真弘 事務局長 安書明正
- 副会長 芝村昌憲 総務次長 富田道興
- 尾上聖盛 会計次長 佐々木栄繼
- 喜田智静 広報次長 篠山昌弘
- 林映寿 事業次長 杉山光範
- 監事 鈴木常孝 増澤正見

## 全真言宗青年連盟理事長就任挨拶



東京号 西光院 鈴木道盛

「豊友」の貴重な誌面を頂戴し、一言ご挨拶申し上げます。全真言宗青年連盟(以下全青連)前執行部副理事長の任より引き続き、今年度より理事長を仰せつかることとなりました。豊山仏青からの理事長出向は、平成20年に坂井智空豊山仏青元会長が理事長を務められて以来となります。何分浅学非才の身でございますので、歴代理事が築かれた大業にはとても遠く及びませんが、日々努力精進してまいりますので、ご指導を何卒お願い申し上げます。

全青連は、宗祖弘法大師の教義を根底に十五の真言宗各派青年会が加盟して活動しております。主となる活動としては毎年結果が開催されており、本年は高野山、来年は根来寺で執り行われます。豊山仏青からは毎回多くのご参加、ご協力をいただき大変心強く

感じております。今後も各派会員が親睦を深め共に研鑽しあえる場を、全青連執行部力を合わせて考えてまいりますので、是非より多くのご参加を心よりお待ちしております。

末筆になりましたが、根本聖道前会長をはじめ前執行部事務局各位におかれましては、無事任期満了されましたこと心よりお慶び申し上げます。また木村真弘新会長並びに新執行部事務局各位におかれましては、今後のご活躍そして豊山仏青益々のご発展をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

合掌

### 全真言宗青年連盟出向者

- 事務局次長 門屋昭馨
- 事務局員 平井俊和
- 多田宏訓

## 新入生 歓迎会

今年も、4月28日に大正大学、6月21日に種智院大学で新入生歓迎会が行われました。新入生の一人一人が初々しいながらも、とてもしっかりとした発言をしているところが印象的でした。

これからの学生生活において楽しいことも辛いこともあるとは思いますが、頑張って乗り越えていって欲しいと思います。

### 新入生 挨拶

種智院大学 二年 谷川 龍俊

(愛媛支所13番成願寺)

私は、昔から祖父や父の背中を見て育ってきました。なので、僧侶としての背中を見てると自分もこうなりたいと思うようになりました。高校生になり、進学の事を考えるようになり自分で調べたり、先輩方から意見を頂きました。種智院大学はとても歴史のある学校という事を知り、そこで学びたいと思い種智院大学へ入学させて頂きました。この大学生活の4年間の間に一つでも多くの事を学び、学んだ事を一人でも多くの方に伝えていけたらと思っています。将来、沢山の人の信頼してらえる僧侶になる為日々精進してまいります。





— 平成28年熊本地震 —

# 被災地視察の御報告



## 益城町

最初に今回の地震で最大震度7の被害を受けた益城町へ視察に伺いました。現地を見渡すと町内の民家は柱が折れて倒壊しているものも多く見られ、一目で深刻な被災状態だと判断できるものでした。町内の共同墓地は、建物は倒壊し、墓地の石塔も倒れ、骨壺が露出しているような状態でした。また、町内のボランティア施設にも伺いましたが、私たちが視察に伺った段階では自衛隊や、専門の業者の方々が中心に作業を行っているという様子でした。

平成28年、4月14日及び4月16日に熊本県益城町を中心に気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測する「平成28年熊本地震」が発生しました。日本国内の一連の地震において震度7の地震が同地区で2度観測されたのは初めてのことであり、地震の規模としては、とても深刻なものとなりました。今回の地震を受けて、私たち真言宗豊山派仏教青年会としても熊本の一日も早い復興のために微力ではあっても、復興支援のお手伝いをしていきたいと思いい、今後どのように対応していくかを検討するため、5月24日に現地への視察に行っていました。





## 写仏講座

豊山仏青では写仏講座を行っております。興味のある檀信徒さまがいらっしやいますら、是非ご案内ください。

平成28年

9月9日(金)

10月14日(金)

11月11日(金)

12月9日(金)

午後1時より宗務所にて

詳細につきましては豊山仏青ホームページをご覧ください。

また豊山仏青ホームページ、写仏講座中の「写仏を体験してみよう」では、体験コーナーをご用意しております。なぞってみたり、お子さまの塗り絵としても、ご利用ください。

## 編集後記

今号より「豊友」の編集を担当させて頂くことになりました広報次長の篠山昌弘と申します。

今号では、4月14日に起こった「平成28年熊本地震」に対して執行部で熊本へ視察に行った記事を軸に編集を進めました。私たちにとっては、4月に執行部が入れ替わり、引継ぎを済ませたばかりで「さあ、これからどうしようか」と考え始めた時に起きた大地震でした。まだ顔合わせもしていない状況で連絡を取り合い地震に対しての対応を練ることは大変でしたが、無事、熊本へ視察に赴き県庁の方へ義援金を送れたことで執行部の結束も強まったと感じています。

前途多難な船出となりましたが、これから二年間、行事も多いですが精一杯努めていきたいと思っています。慣れない編集作業のため、ご迷惑おかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

篠山昌弘

写仏講座・千響チャリティー演奏は

豊山仏青

検索



Facebook

[www.facebook.com/buzanbussei/](http://www.facebook.com/buzanbussei/)



豊友お問い合わせ先

[info@bussei.gr.jp](mailto:info@bussei.gr.jp)

## 豊友 第156号

平成28年8月19日発行

発行人 木村真弘

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号  
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

デザイン・印刷 株式会社ディー・エイ・ティ・コーポレーション